

～環境学館いずみボランティアスタッフによる「いずみガイド」～

5月のテキゴト

5月19日(日)開催 いずみ自然塾(城山の自然)

「城山の森」の春を感じる散策を、講師を萩原氏に来ていただき、主に北側を中心に歩きました。歩きながら城山の地形の特徴、その特徴のおかげで絶滅危惧種、準絶滅危惧種をはじめ、昆虫474種、植物494種、キノコ類136種など動植物併せて千種を超える種類が確認され、他の似たような地形の所と比べて「豊かな場所」と評価を受けており、保全の必要性が高いとされています。今回の観察会の時期は、花が終わって寂しい時期ではありましたが、観察会では草花、樹木の名前やその由来を聞きながら歩きました。



城山の森についてパソコンで検索してみました。

景観と自然環境：すばらしい景観と良好な自然環境が整っています。

保全活動：地元のボランティアと協力して、城山の森の保全活動が行われています。

散策路：散策マップが提供されており、森の中を散策できます。

注意事項：散策時にはマナーを守り、植物や野鳥を大切にしましょう。

城山は歴史的な意味も持っており、戦国時代には上杉謙信や直江兼続の城跡としても知られているそうです。歴史に詳しい方にはまた違った視点での城山の森かもしれません。

この観察会の翌週に再度城山の森に行く機会がありました。たったの1週間ですが、植物によっては成長して土が見えないくらい大きくなっていたり、特に樹木は木の葉の色や

大きさがどんどん大きくなっているのに驚きました。自然は、そのままではいけない、変化するものだとつくづく感じました。

記 環境学館いずみ運営ボランティア K.Y

